

防災リーダー育成先進事例

～防災リーダー育成、防災訓練、防災マップ作成、要援護者避難支援プラン作成～



(写真:防災リーダー育成研修会の様子 撮影:2007.11.28)

自主防災組織プロフィール

組織名
泉川連合自治会自主防災会
世帯数
約 5,350 世帯
特徴
泉川校区 6 7 自治会が加入している、小学校校区単位の連合自主防災組織。 平成 19 年度に愛媛県の自主防災組織育成モデル地区として地域における防災リーダーを育成する取り組みを実施。現在もリーダーが中心とした防災訓練等に積極的に取り組んでいる。

愛媛県自主防災組織育成モデル事業

自主防災組織の優良モデルとなる組織活動の育成を支援し、その活動を県下に広めることにより、自主防災組織の一層の活動支援を図ることを目的として平成19年度に実施された事業。新居浜市では泉川地区をモデルとした防災リーダー育成事業を実施。

泉川校区自主防災組織育成モデル事業実施概要

1. 防災研修会(にいほま防災リーダー育成)の実施

内 容：地域自主防災組織運営の核となる人材を育成するため、研修会を実施。内容は防災リーダーの必要性、危機管理の定義、防災マップの作成方法など。

日 時：11月28日 9時30分～16時

場 所：泉川公民館(体育館)

参加者：泉川校区住民約50名、市職員・教員約20名
市内他校区参加者約30名 合計 100 名

2. 災害時要援護者支援プラン作成

内 容：避難が必要な状況となった場合に、自力で避難することが困難な方を把握し、あらかじめ支援者を決めておく。

期 間：10月～3月

実 施 者：校区民生委員、住民(リーダー)、市職員

3. 防災マップの作成

内 容：要援護者情報、災害危険箇所等を含む地域防災マップの作成。

POINT

- 地域防災の核となる人材＝防災リーダーの育成への取り組み
- 防災リーダー主導で進める
 - ・防災訓練
 - ・災害時要援護者支援プラン作成
 - ・防災マップ作製
 - ・地域防災計画作成

期 間：12月～2月

実 施 者：地域住民(防災リーダー)

4. 地域防災計画の見直し

内 容：防災計画の見直し及び次年度以降の年間計画を作成。

期 間：1月～2月

実 施 者：防災リーダー

5. 防災訓練の実施

内 容：資機材を活用した災害時要援護者の避難・救出訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練、日本赤十字社講師指導による要援護者支援訓練。

日 時：3月16日 9時～12時

場 所：泉川公民館及び寿公園

参加者：校区住民